

平成 29 年度並木小学校 PTA 第 5 回運営委員会・議事録

日時：平成 30 年 1 月*日(*)**:*~**:*

場所：並木小学校 PTA 室

出席数：18 名（本部 8 名, 学年委員会 6 名, 専門委員会 3 名, 他委員会 1 名）

PTA 会長挨拶

寒くなって近隣公園の池に氷がはっていました。本年も頑張ってゆきましょう。本日はボランティアグループの皆さんへ来ていただきしており、議事も盛り沢山なので早速進めていきましょう。

ボランティアグループ(VG)活動報告

1. 放射線対策ボランティア

2011 年以降、年 2 回程度、校内約 20 か所の放射線量の測定を続けてきた。2017 年度は、中庭の一部に前年度より数値が上がった場所があったので学校に報告して対応して頂いた。除染で取り除いた土を埋めた場所を学校や関係者間で把握して管理する課題が残っている。なおメンバー減により 2018 年度は休会予定である。

2. 読み聞かせボランティアグループ

在籍 26 人が月一度のペースで朝**:*~**:*と昼**:*~**:*の時間帯で読み聞かせを実施。実際の活動や読んだ本に関する情報交換、講座の開催、2017 年度は研究協力依頼があった筑波大学院生が参加するなど、楽しみながら活動を行っている。更に 2017 年 10 月の PTA 実施のアンケートで児童のためになっている活動として高評価を得たことに感謝したい。

3. イベントボランティアグループ

2017 年 5 月の運動会時の PTA 競技としてリレーを実施し 84 名の参加を得た。また並木夏祭り昼の部の運営に関わり模擬店(金魚すくい)も実施した(2017 年 7 月)。今後は、手伝い隊と連携して、防災キャンプを企画しており現在下調べ中。

4. 手伝い隊

“男性に限定しないおやじ会”としてスタート。他 VG の様に決まった活動はなく、都度課題を掘り起こし・対応。ここ 2 年間は、校内設備関連（プール整備・冷水機修理・教室・廊下段差解消・防災倉庫運用）といった「要望対応」に加え、観察池や中庭整備・防災活動準備といった「自主設定課題対応」を遂行中（防災準備、今年度からイベント G と協同）。次年度も同様の活動を継続予定。

[議論(1-4)]

次号の運営委員会日より VG 活動を紹介する際に連絡先の掲載が了承された。防災に関して PTA の課題として認識されるが取組が不十分だったので、校内清掃作業時に校庭の防災倉庫の案内会を行うなど VG の取り組みに期待できること、また災害対応・救命では子供にもできることやしてもらったこと(例えば「誰か 119 して」ではなく「あなた 119 して」と助けを求めるなど)も伝えられると指摘があった。

審議事項

1. 任意参加制への移行について(資料 1)

[趣旨] 本部書記から、具体的な実施手続きとして 1)1 月末に入退会届け出案内(実際には退会)を会員に配り 2 月末を締め切りとすること、2)入退会事務手続きの追加規定と届け出様式を並木小 PTA・HP に掲載すること、3)入退会事務手続きで生ずる文書ファイル管理、4)新入生保護者説明会での説明について提案され、今後のスケジュールも確認した。

[結論] 提案のとおり進めることとした。なお 1)の案内は文言を整理するよう指摘があった。

2. 平成 30 年度の本部役員募集について(資料 2)

[趣旨] 選考委員長より種々の努力にも関わらず本部役員が定数 8 のところ 2 しか埋まらない現状が示され、今後の本部役員の確保及び定数を満たさない場合の本部運営対応策の議論が要請された。

[議論] 役員引き受けを断る理由として並木地区の在住期間が短いこと、他の用務が忙しい

こと、配偶者の反対などが挙げられた。これに対して、PTA 活動はできる範囲で行うことを強調すること、2018 年度は任意参加制の実質的なスタート年度となり他の年度と比べても却ってやりやすいこと、配偶者の協力も必要である一方個人で決めて頂く大切さを勧誘時に訴えるのも効果的と提案があった。また本部役員は、その他の委員会と比べて担い手になるハードルが高いが、「本部」といわず「庶務委員会」とする案も示された。ただ名前を出していかざるを得ない会長はどうしても必要であり、できる限り確保できるようにしたいと指摘があった。更に他地域で行われているように次期、次々期の本部役員の担い手確保のための非公式のコミュニケーション(懇親会など)を深めるアイデアも示された。なお 2017 年度本部役員の大多数は種々の事情で留任できないことが示された。

[結論]監査(定員 2 名)も含め再募集をかけることとした。また個別の勧誘で真剣に検討して下さった方、断る強い理由がさほど見当たらない方を対象に再勧誘の取組を行うこととした。

3. 親子視聴覚開催年度の委員数増員について(資料 3)

[趣旨]文化委員会(書記)より、文化委員会の定数は 6 であるが、2018 年度に親子視聴覚を開催するとなると業務量が増えるので定数を 8 にしてほしいと提案があった。

[議論]2018 年度委員の現状として第一希望 7 名、第二希望 3 名があることが示された。続いて増員なしでボランティアを 2 名確保する提案、副会長の 1 名を親子視聴覚担当とする提案も示された。一方で親子視聴覚の 2018 年度実施について小学校は積極的ではなく、かつ小学校とスケジュールが未調整と指摘された。また 2018 年度文化委員の意向も予断できないという意見もあった。このため運営委員の考えを諮ったところ、2018 年度は是非とも実施したいという人が出てこない限り実施しない方向だが、2019 年度は実施してもよいのではという感触が共有された。このため 2018 年度は 2019 年度実施にむけた準備作業を行うことを仮置きの課題とした。

[結論]委員数増員はペンディングとする。親子視聴覚の今後の実施方針について小学校と PTA で認識の共有を深める。

4. 平成 30 年度予算案について(資料 4)

[趣旨]本部会計より、2017 年度の決算予測と 2018 年度予算の第 1 案が示された。

[議論]親子視聴覚(2017 年度未実施)は、2018 年度は未定だが、次回の実施を想定して 20 万円積み立てていくことが考えられること(なお親子視聴覚費用の相場は 40 万円程度からとのこと*並木小児童数に合致したもの。)、またボランティアグループには比較的大きな額を割り当ててよいのではとコメントがあった。また繰越金が比較的大きいが、助成金を上回らない適正規模に抑える必要がある点も確認された。

[結論]議論を踏まえて修正し、第 6 回運営委員会で再検討し、最終的には 4 月の PTA 総会で提案して承認を得ることとした。

報告事項

1. 学年委員会および運営委員会の活動報告および活動予定(資料 5)

資料 5 に基づき各委員会より報告。口頭で補足されたものを反映した表を別紙に添付。

その他

1. 総会資料用各委員会およびボランティアの活動報告の作成依頼(資料 6)

2018 年 4 月の第 41 回 PTA 総会の資料に含めるための活動報告の作成・提出を依頼した。様式、記入例等は後日メールで送付する予定。

2. 第 6 回運営委員会予定

3 月*日 (*) *時*分から PTA 室

(議事録：平成 29 年度 PTA 運営委員会書記)

平成 29 年度 並木小 PTA 各委員会および本部主要活動報告と活動予定

平成 30 年 1 月**日現在

委員会名	活動報告	活動予定
第 1 学年委員会	-	-
第 2 学年委員会	-	2 月 懇談会 名札準備 次年度役員候補者への案内
第 3 学年委員会	11/* 第 2 回親睦会(親子空手体験教室)開催	2/* 懇談会司会、次年度希望者への案内配布
第 4 学年委員会	-	-
第 5 学年委員会	12/*他 次年度学年委員希望者への声かけ	2/* 懇談会司会 次年度学年委員のお願い 卒業記念事業委員のお願い
第 6 学年委員会	12/*卒業記念品打ち合わせ	1/* 茶話会打ち合わせ 2/* 茶話会
広報委員会	11/* 入稿(1 回目、以降順次) 12/* 委員打合せ 12/* 持久走大会写真撮影 12/* 音楽会写真撮影 12/* 入稿(最終)	1/* 発行予定 2/* 次年度委員選考
文化委員会	12/* 第四回講座打ち合わせ、文書印刷・配布 12/* 文書回収	1/* 第四回講座及び閉級式開催
校外生活委員会	1/* 安全パトロール開始 1/* 「子供を守る 110 の家」募集	2/* 校外便りNo. 3 発行
選考委員会	次年度 PTA 本部役員の勧誘	(2 月)新 1 年生保護者説明会にてアンケート回収、集計 (2 月)選考委員希望者への連絡 (随時)本部役員決定のお知らせ配布
本部	12/* 運営委員会だより第 4 号発行	1 月～ 平成 30 年度予算案作成 2 月～ 総会資料作成、新委員名簿作成 2-3 月 PTA 入退会受付事務